

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年7月1日

【評価実施概要】

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 事業所番号 | 1072700493 |
| 法人名 | タクミ工業株式会社 |
| 事業所名 | グループホーム ベルジ前橋 たやの家 |
| 所在地 | 群馬県前橋市上泉町1870-3 (電話) 0278-269-6054 |

| | |
|-------|----------------------------|
| 評価機関名 | サービス評価センター はあとらんど |
| 所在地 | 群馬県前橋市大友町2-29-5 コミューン100-B |
| 訪問調査日 | 平成19年6月20日 |

【情報提供票より】平成19年4月15日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 14 年 7 月 1 日 |
| ユニット数 | 3 ユニット 利用定員数計 27 人 |
| 職員数 | 21 人 常勤 17 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 6.2 人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 建物構造 | 鉄筋造り | | |
| | 3 階建ての | 1 階 ~ | 3 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|------------------|----------------|--------|
| 家賃(平均月額) | 36,000 円 | その他の経費(月額) | 規定通り 円 |
| 敷金 | 有(円) | 無 | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(300,000 円) | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 1,300 円 | | |

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|-------|
| 利用者人数 | 27 名 | 男性 | 7 名 | 女性 | 20 名 |
| 要介護1 | 6 名 | 要介護2 | 6 名 | | |
| 要介護3 | 4 名 | 要介護4 | 6 名 | | |
| 要介護5 | 4 名 | 要支援2 | 1 名 | | |
| 年齢 | 平均 83.6 歳 | 最低 | 70 歳 | 最高 | 100 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-------------------|
| 協力医療機関名 | 上武呼吸器科内科病院 土井内科医院 |
|---------|-------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人グループが長年取り組んできた医療・福祉の経験を生かし、利用者・家族の思いや地域の要求を受け入れ、入所の際には丁寧な面接を重ね、重度化した場合でも、できる限りその人らしく支援していく姿勢を大切にしている。職員の異動による利用者の負担を考慮しながら、地域とのかかわり・家族との協力・職員の研修などにもあせらずじっくり取り組んでいこうという意欲が感じられ、地域を意識した関わりが広がっていくことが期待されるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の改善点課題は、すぐ取り組める内容(ひやりはっと記録を作成し事故防止に努めるなど)から改善している。また、まだ改善されていない項目においても具体的な検討段階を踏み取り組みを進めている。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回自己評価を行うにあたり、ホームの実情を真摯に受け止め、まずは職員が日常のサービスを充実させることを第一に置いて、地域での生活には家族の協力や地域推進会議が開催されることが重要であると再認識し、徐々に地域との交流の幅を広げていこうとしている。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>毎回自治会長・民生委員・家族代表者の他に、行政職員が交代で参加している。行政職員が毎回違うことで、ホームの実情をその都度説明しているが、ホームの理解を広めることにもなっており、同時に参加職員の得意分野が情報提供されるため、行政との連携もとりやすくなっている。また『世間話』と称して参加者と自然に地域の情報交換ができ、行事参加や保育園・幼稚園・学校との関わりがきっかけづくりにもつながっており、運営推進会議は大きな役割を持っている。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族が苦情や意見がなかなか出せないことを十分に承知しているため、特に入所前から相談活動を重視している。入所後も、毎月、利用者ごとに健康状態やホームでの暮らし振りを伝えるメッセージを添えてお便りを発行している。介護計画についての要望はもちろん、物品の購入もその都度家族と相談している。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自然環境には恵まれてはいるが、近隣の住宅地とは離れているため日常的な関わりを気軽にもつことは難しい。しかし、地域推進会議が定着して行く中で、自治会長等との連携も更に深め、地域の協力を得ながら行事参加や保育園や学校との関わりも広げていきたいと考えている。</p> |

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|---|------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | グループの共通した職員の心得を示した理念を事務所内に掲示し、毎朝唱和している。現状では、それを実践することが、地域の中で生活していくことを支えるサービスであると自覚している。 | ○ | 職員は、グループの長年の経験から作られた心得を重視してサービス提供に心がけている。さらにグループホーム独自の、地域を強く意識した利用者・家族が主体となった親しみやすい理念も職員間で検討してみてもどうか。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員の異動により、新入職員も多いため支配人・管理者は職員の心得を実践していく取り組みを日々行っている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地理的な条件で地域との気楽な関わりは持ちにくいですが、地域推進会議も定着し、自治会長をはじめ連携できる関係は築きつつある。会議の中で交わされる『世間話』を通じて地域の情報も取り入れ、今後は1人でも地域の行事に参加するなど、できることから検討していきたいと思っている。 | ○ | 地理的な条件を克服した独自の試みを期待したい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 前回の評価以降、支配人をはじめ職員の異動があり、具体的な見直しまでは行えない現状である。毎日の業務を通じ、評価にとらわれず、今までの取り組みを省みながら改善できるところはしていきたいという意識は強く持っている。 | ○ | 職員の異動があり限られた時間の中で、支配人・管理者はあせらずじっくり現状を捉えており、前向きに方向性も出しており、今後の具体的な改善に向けた取り組みに期待したい。 |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている | 会議には自治会長や民生委員・家族の代表者も参加している。会議では毎回ホームの実情を報告しているが、行政職員が交代で参加しているため、それぞれの専門分野からの情報も聞くことができる。『世間話』と称して交わされる内容も、地域で生活していく上で欠かせない情報になっており、サービスに生かしていきたいと思っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|---|------|--|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 生活保護担当者とは定期的な関わりをもっているが、運営推進会議に参加した保健師等との関わりもでき、連携も取りやすくなっている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 毎月行事報告や予定の他に、個々の健康状態や日常の様子を知らせるメッセージを添えてお便りを発行している。金銭管理についてもその都度確認を取りながら購入し、明細は月毎に提示している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族は、意見や要望がなかなか言えないのではという配慮をしている。その上にたって入所前の相談や入所時の面接に時間をかけ、家族や利用者の状況を把握するように努めたり、運営推進会議へも参加してもらっている。また来所持にはその都度声かけをして気軽に意見を出してもらっている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 今年に入って職員の異動が重なり、利用者への影響を最優先に取り組んでいる。短期間に行うオリエンテーションは、グループホームのあり方・地域の捉え方・個別対応の重要性を中心に行った。 | ○ | 今後も実践を通じて職員の悩みや課題を明らかにしながら、職員の異動による影響を乗り越え、サービスの向上実践に配慮していただきたい。 |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | グループとしての研修は以前から充実しているが、まずはホーム独自の研修に力を入れていきたいと考えている。3ユニットの利点を生かし、それぞれのユニット間の交流も行いながら実施していく方針である。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 支配人がグループホーム協議会の研修委員として中心的な役割を担っており、同業者間でのレベルアップ研修に積極的な姿勢を示している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|----|---|---|----------------------------------|
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| | 12 | 26 | <p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | サービス利用前に、家族や本人の意向を十分に聞き、まずは見学してもらい実情を知ってもらうようにしている。 | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| | 13 | 27 | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | 利用者が歩んできた生活歴を受け止め、現状の力を生かせるよう支援している。家族のような感情のやり取りに、時には悩むこともあると言う素直な表現から、共に生活している様子が感じ取れる。 | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| | 14 | 33 | <p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | 入所時に細かな聞き取りをしており、思いや意向が表現できない場合でも、家族からの情報も参考にして普段の行動や言動に隠されている思いを汲み取るよう心がけている。 | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| | 15 | 36 | <p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | 利用者のアセスメントやモニタリングを中心にした月2回のユニット会議の中で、家族の意向も組み入れた介護計画の作成をケアマネが中心になって職員と一緒にこなしている。 | |
| | 16 | 37 | <p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | 基本的には3ヶ月ごとに介護計画の見直しを行っている。日々の微妙な変化に注意して接しているため、変化があった際には関係者で話し合い見直しをしている。 | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 3ユニット全体の総括を行う支配人(介護支援専門員・社会福祉士)が中心となって、入居希望者(家族)等からの各種の相談や入居者の通院介助にも即対応している。地域や行政機関等との連携にも積極的に取り組んでいる。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 基本的には、協力医療機関への通院は職員が行っているが、それ以外の主治医を希望している場合は、家族対応をお願いしている。緊急時等については家族に連絡し、病院で落ち合うようにしている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居に際し、重度化した場合や終末期のあり方について家族と十分話し合っている。入退院を繰り返さない限り、かかりつけ医と連携して、できる限り支援していく方向である。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 誰しもが持っている基本的な尊厳や、積み上げてきた人生そのものを尊重し、家族の意向も配慮しながら日々の生活を支援していることが伺える。個人情報の取り扱いについては慎重を期している。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居時にこれまでの生活状況等を本人や家族から聞き取り、その人にあつたリズムを大切に、生き甲斐のもてるサービスの提供が出来るよう日々心がけている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 各ユニットとも個人の体調に合わせた調理方法が工夫されており、本人のペースでゆっくりと食事ができる。介助が必要な入居者には一対一で対応し、食欲を引き出す働きかけを行っている。介助が必要な利用者が多いため、一緒に食事はとれないが、準備や下善・食器洗いなどは一緒に行っている。 | ○ | 個々の体調に合わせた行き届いたサービスを提供しているため、現状では一緒に食事はしていないが、ユニットの状況に応じ、職員の一人でも一緒に食事を楽しむことを心がけていただきたい。 |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 週に2～3回は入浴を支援している。時間は希望に応じる努力はしている。毎日一番風呂を楽しみにしている利用者もいる。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食事作りのための芽とり・皮むきや後片づけ・洗いものをしたり、自由時間に、ぬりえ・簡単な工作などに取り組んでいる利用者もいる。また、なるべく外へ出て、風に当たり季節感を感じ取るようにしている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | それぞれの状況や希望に応じ、5分でも10分でも庭先に出て花の水やりや草むしりをする時間を持つようになっている。ドライブや花見などは、3ユニット合同で行っている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 建物の構造上、家族には同意を得た上で、各ユニットの入り口には通常鍵がかけられている。職員が付いての外出や外気浴の際にはかけていない。 | ○ | 日常的に鍵をかけない支援がしたいの思いを持っており、時間帯によっては実践しているため、今後も鍵をかけないケアの実践に向けて検討していただきたい。 |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 防災設備については完備されている。年二回の防災訓練も行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立は、すべて栄養士が立っている。個々の好みや希望については事前に伝え、出来る限り希望に添うようにしている。毎日の食事や水分節取量はチェック表で確認している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 建物の周囲は自然に恵まれており、特に2階・3階からの眺望はとて素晴らしい心が癒される。居室をはじめ、どの空間も比較的広めに出来ており、ゆったりと過ごせる。居室毎に使い勝手の良いトイレと洗面所が整備されており、快適な生活が出来る。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 本人が長年親しんだなじみの家具等持ち込まれており、それぞれが工夫して居心地のよい居場所づくりがなされている。 | | |